

ゴマノハグサ科アサリナ属／一年草

【開花時期】6～10月

【その他】花径：3～4cm

草丈：春に植え込むと秋には
2m以上に伸びます



土・鉢について

用土、鉢、元肥、追肥(液体肥料)を準備しましょう。

●【用土】新しい土を使いましょう。古い土の場合、病原菌などが残っている場合がありますので、市販の培養土を準備して新しい土で植えてください。花の育ち方が違います。

●【鉢(プランター)】プランターに植え込む場合の株数の目安は、21cm直径の丸鉢プランターに1株です。

置き場所

直射日光を好みますので、日当りの良い屋外で管理してください。

水やり

土が乾いているのを確認してから、たっぷりと与えましょう。

●鉢土が乾いたらたっぷり水を与えてください。花や葉に直接水をかけると、株が傷んだり、蒸れや病気などの原因になりますので、株元から水やりしてください。

肥料

定期的に与えましょう。生育旺盛なので、開花時は週2回液肥を与えるのがポイント！

●市販の肥料を準備しましょう。花をたくさん咲かせるためには欠かせません。植込み時には直径21cmのプランターに置き肥として元肥を3～4粒混ぜ込みましょう。

●追肥は植え込み後1週間くらい経ってから、市販の液肥を2週間に一回のペースで定期的に欠かさずやってください。

※お手持ちの肥料に記載されている肥料の使用方法、濃度、頻度を参考にしてください。

ポイント

●置き肥として元肥3～4粒を月に一度、必ずあげるのがポイントです！

摘芯＆切戻し

植え込んだ後2～3回、摘芯し、ボリューム感ある株に仕立てましょう。

●「花数が減った」「形が乱ってきた」と感じたら、整える程度に切り戻してください。

その他

株元をキレイにして全体を美しく グリーンカーテンにおすすめ

●切り戻すことで、枝先だけでなく株元の芽が伸びて、さらに株のボリューム感が増します。古い葉や黄化した葉、新芽を覆うほどの大きな葉を摘み取り、株元にもしっかり光と風を通して株元の新芽の動きを活発にさせましょう。

●梅雨から夏の多湿の時期は株元がとても蒸れやすくなります。ポイント 枯れた葉や古い葉はこまめに取って株元を清潔にし、種子がつくと株を弱らせるので花がらも早めに摘み取ってください。

●つる性でグングン伸びるので、壁や窓から垂らしたり、ハンギング・露地植などダイナミックな演出が楽しめます。植えた容器や場所に応じて行灯支柱、トレリスなどを用意し、伸びるつるを上下方向や左右に誘引して全体を茂らせながら花を咲かせることもできます。涼しくなると秋ごろから花数が増えます。

栽培の過程でご不明な点やお困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。

サントリーフラワーズお客様センター

電話番号：0570-550-087

(平日10:00～17:00 土・日・祝日休)

メールによるお問い合わせ info@suntoryflowers.co.jp

サントリーフラワーズホームページ <http://suntory.jp/FLOWER/>